

NCデータ入出カソフト 資料

Godo System Machine Corporation.

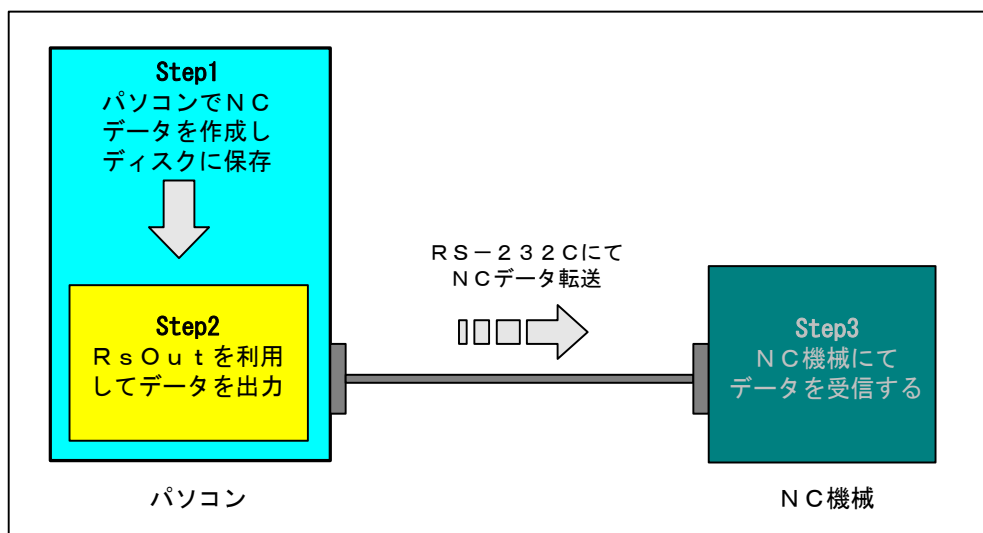
RsOut NCプログラム転送アプリケーション

本アプリケーションは、ディスクに保存されたNCプログラムファイルをRS-232Cインターフェースを利用し、NC機械に転送するものです。

NCプログラム転送を行うためには、パソコンとNC機械の両方に通信の設定を行う必要があります。

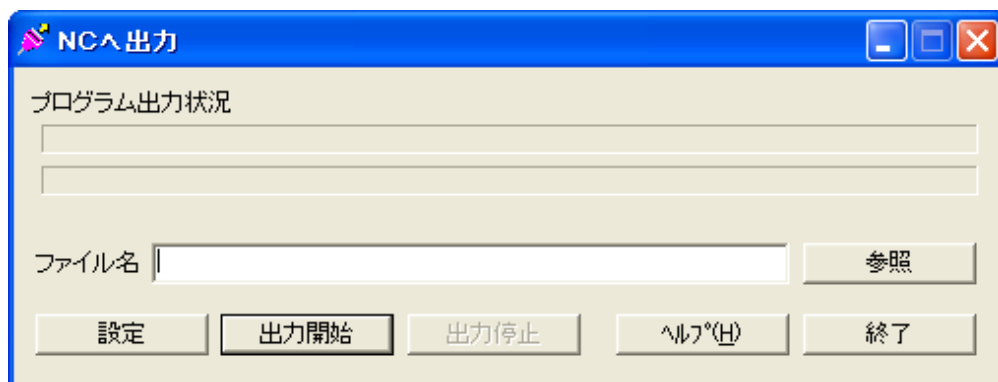
NC機械側の通信の設定方法につきましては、機械付属のマニュアル等を参照してください。

RsOutによるパソコンからNC機械へのデータ転送概略図



● RsOut各部の名称

RsOutを起動すると次のようなウィンドウが表示されます。



[参照]

ファイル一覧が表示されます。
転送するNCプログラムファイルを選択して下さい。

[ヘルプ]

本ヘルプファイルを表示します。

[終了]

RsOut NCプログラム転送アプリケーションを終了します。

[出力停止]

出力中のNCプログラムを強制的に停止します。

[出力開始]

ファイル参照ボタンで選択したNCプログラムを
NC機械に転送(出力)します。

[設定]

RS232Cインターフェースの通信仕様を設定します。
詳しくは「RS-232C通信設定」をご覧ください。

● RS-232C通信設定

RS232Cインターフェースの通信仕様を設定します。
接続されるNC機械の通信仕様と合わせてください。

通信の詳細設定

通信ポート: COM 1

ボーレート: 4800

ストップビット: 1 2

DC制御: NON IN OUT

コード: ASCII ISO EIA

スペース出力: 0

送信遅延: 0 ms

再送 サブプロ展開

NCプログラムフォルダ: D:\NCPRO#

参照

OK キャンセル

[通信ポート]

パソコンのデータ出力用ポート番号を選択します。
COM1～COM99

[ボーレート]

通信速度 (bps) を設定します。
300～115200bps

[スペース出力]

データ出力時に、送信するNCプログラムの前後にスペースコード(20H)を出力します。
出力するスペースコードの数を入力します。
出力しない場合は0にしてください。

[送信ディレイ]

送信を遅らせる時間を設定します。
送信速度が速すぎてNC側がエラーする場合は、この値を大きくして下さい。

[ストップビット]

ストップビットの数を設定します。

[DC制御]

通信のプロトコルを設定します。

NON	…	ラインコントロール
IN	…	DC-IN (外部機器からのDCコードで制御)
OUT	…	DC-OUT (外部機器をDCコードで制御)

[コード]

データの通信コードを設定します。
ASCII、ISO、EIAから選択できます。

[再送]

出力中NCプログラムを、送信終了後、再度送信状態にします。
DNC運転時に、繰り返し同じNCプログラムを送信する場合に便利です。

[サブプロ展開]

出力するNCプログラム内にサブプログラムの呼び出し行が有る場合、そのサブプログラムファイル(別ファイル)の内容を展開し、1つのNCプログラムにまとめて出力します。
DNC運転時に、メインプログラムとサブプログラムがそれぞれ別ファイルとして保存されている場合でも、転送が可能になります。詳細は下記の「サブプロ展開の詳細について」を参照して下さい。
*本機能は再送が設定されている場合のみ利用可能です。

[NCプログラムフォルダ]

出力するファイルのフォルダを設定することができます。
ここで設定したフォルダとファイル名で入力した文字列を連結したものが、出力するファイルとなります。

(例)	NCプログラムフォルダ	D: ¥NCPRO¥
	ファイル名	out.nc
	出力するファイル	D: ¥NCPRO¥out.nc

ただし、ファイル名の入力をフルパスで指定した場合はNCプログラムフォルダの設定は無視されます。

●サブプロ展開の詳細について

機能の概要と制限事項

選択されたNCプログラムファイル内に、M98によるサブプログラム呼び出しブロックが記述されている場合、そのプログラムO番号と同名のサブプログラムファイルを展開し出力します。ただし、展開されるサブプログラムファイルはメインプログラムと同じフォルダに保管されているものに限り、また、サブプログラムファイルが同じフォルダ内に存在しない場合、元のM98を含むブロックをそのまま出力します。

サブプログラムファイルから、さらに別のサブプログラムファイルを呼び出す場合においても展開することが可能で、この場合メインプログラムファイルを1階層目として最高9階層までの展開が可能です。

サブプログラムのファイル名について

サブプログラムファイル名は、アルファベットOに続く4桁以内の数字によるファイル名と、拡張子NCの付いたファイルのみが対象となります。

[例] O0101. NC
O101. NCでも可能です。

サブプログラムの繰り返し指定について

サブプログラムの繰り返し指定の記述は、“L”による繰り返し回数の指定と、“L”を使用しない方法のどちらでも可能です。

[例] O0101. NCを5回繰り返す場合の記述は下記のどちらでも可能です。
M98P0101L5
M98P50101(下4桁をO番号、残りの桁を繰り返し回数とします)

サブプログラム展開による出力例

[例] メインプログラムファイルO100. NCとサブプログラムファイルO101. NCの展開による出力は下記ようになります。

メインプログラムO100. NC	サブプログラムO101. NC
%	%
O100(MAIN)	O101(SUB)
G91G17	G01X100. F3000
M98P101L2	X-100.
M30	M99
%	%

上記2つのファイルを展開した結果、出力されるNCプログラム

```
O100(MAIN)
G91G17
G01X100. F3000
X-100.
G01X100. F3000
X-100.
M30
```

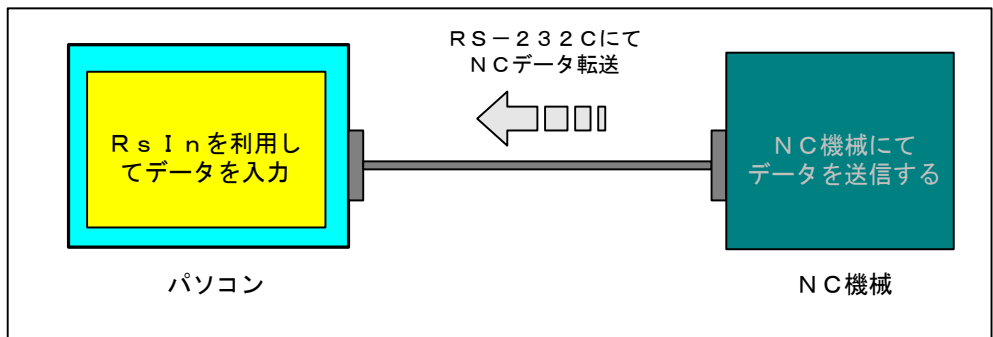
R s I n NCプログラム転送アプリケーション

本アプリケーションは、NC機械のメモリ内にあるNCプログラムをパソコンにRS-232Cインターフェースを利用して転送するものです。

NCプログラム転送を行うためには、パソコンとNC機械の両方に通信の設定を行う必要があります。

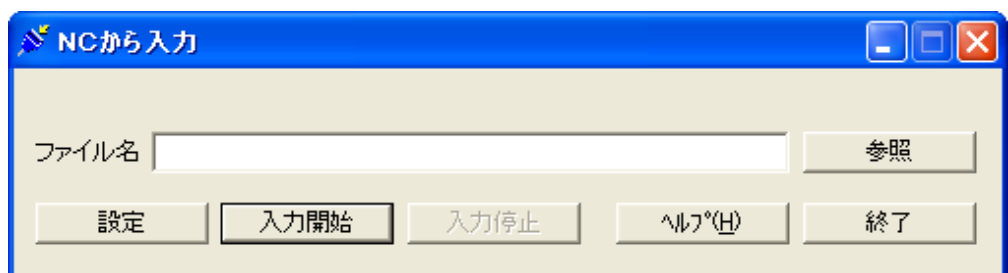
NC機械側の通信の設定方法につきましては、機械付属のマニュアル等を参照してください。

R s I nによるNC機械からパソコンへのデータ転送概略図



● R s I n各部の名称

R s I nを起動すると次のようなウィンドウが表示されます。



[参照]

ファイル一覧が表示されます。

上書き登録するNCプログラムファイルを選択して下さい。

[ヘルプ]

本ヘルプファイルを表示します。

[終了]

R s I n NCプログラム転送アプリケーションを終了します。

[入力停止]

入力中のNCプログラムを強制的に停止します。

[入力開始]

NC機械からの転送（入力）を開始します。

[設定]

RS232Cインターフェースの通信仕様を設定します。
詳しくは「RS-232C通信設定」をご覧ください。

● RS-232C通信設定

RS232Cインターフェースの通信仕様を設定します。
接続されるNC機械の通信仕様と合わせてください。

通信の詳細設定

通信ポート: COM 1

ボーレート: 4800

ストップビット: 1 2

DC制御: NON IN OUT

コード: ASCII ISO EIA

タイムアウト: 3 秒

NCプログラムフォルダ: D:\NCPRO#

参照

OK キャンセル

[通信ポート]

パソコンのデータ入力用ポート番号を選択します。
COM1～COM9 9

[ボーレート]

通信速度（bps）を設定します。
300～115200bps

[タイムアウト]

指定された時間、入力が行われないと強制中断します。
利用しない場合は0を入力してください。

[ストップビット]

ストップビットの数を設定します。

[DC制御]

通信のプロトコルを設定します。

NON	…	ラインコントロール
IN	…	DC-IN (外部機器からのDCコードで制御)
OUT	…	DC-OUT (外部機器をDCコードで制御)

[コード]

データの通信コードを設定します。

ASCII、ISO、EIAから選択できます。

[NCプログラムフォルダ]

入力するファイルのフォルダを設定することができます。

ここで設定したフォルダとファイル名で入力した文字列を連結したものが、入力するファイルとなります。

(例)	NCプログラムフォルダ	D: ¥NCPRO¥
	ファイル名	in.nc
	入力するファイル	D: ¥NCPRO¥in.nc

ただし、ファイル名の入力をフルパスで指定した場合はNCプログラムフォルダの設定は無視されます。

Godo System Machine Corporation.

www.godosystem.com gsm@godosystem.com

phone 053-437-7811